

課題名 情報交換ツールを用いた喘息患者における 吸入指導の有用性の検討

○研究の目的

近年、吸入指導における医薬連携の重要性が注目されています。先行研究の「情報交換ツールを用いた喘息患者における吸入指導の有用性の検討」(疫-278)において、喘息管理手帳(以下、手帳)を用いて医師・薬剤師が連携して吸入指導を行うことで喘息コントロールが向上するかを検証しています。本研究では先行研究で得られたデータを利用して吸入指導における医師・薬剤師の連携が、喘息患者の服薬状況と喘息コントロールに及ぼす影響について検証します。

○ 研究対象者

平成 22 年 8 月から平成 24 年 3 月 31 日までに、広島大学病院呼吸器内科で行われた疫学研究「情報交換ツールを用いた喘息患者における吸入指導の有用性の検討」(疫-278)に参加した患者さんを対象とします。

○研究の方法

本研究は、広島大学病院呼吸器内科(現 広島アレルギー呼吸器クリニック)春田 吉則氏によって行われた疫学研究「情報交換ツールを用いた吸入指導の有用性の検討」にて既に匿名化されているデータのみを利用します。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)

(研究期間 承認後～ 平成 29 年 3 月 31 日)

○個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5579

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰(研究責任者)

薬剤師 真志田 絵美子(研究担当者)